

(参考)評価表の構成について

事務事業評価表は、2ページ構成(表面、裏面)です。
 内容は下記のようにブロック単位で構成されています。(白地部分が入力域)

表面

1. 事務事業の名称と計画上の位置付け等を明らかにする部分。

事務事業評価表(平成16年度)

事務事業名				整理番号		
所属名(部・課・係)						
基本計画の体系	地域社会づくりの方向			コード		
	施策の体系(大項目)	基本計画にある施策体系を記載しています。			コード	
	" (中項目)			コード		
	" (小項目)			コード		
<input type="checkbox"/> 実施計画事業						
補完計画上の位置付け	<input checked="" type="radio"/> 無	<input type="radio"/> 有(計画名)				
事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和	<input type="radio"/> 平成	年度	終期設定	年度	

'基本計画の施策体系図'より、施策のコード番号を記載しています。

補完計画上の事業の場合に、その計画名を記載しています。

基本計画上の計画事業に指定されているとき、ここをチェック。

(注意)
各事業課の補完計画に指定されている、いないをチェック

事業の開始年度を記載しています。(昭和・平成のどちらかチェック)

事業に終期が設定されているときに、記載してあります。

2. 事務事業の概要を記載し、指標を設定する部分

1 事務事業の概要

対象(何、誰を) 個人 世帯 団体 その他

根拠法令等

事業の対象を具体的に記載しています。

事業の根拠法令を記載しています。(法律、条例、要綱等)

活動内容(具体的に、簡潔に記入)

活動指標(事業の活動量を表す指標。計算式があれば、式も記入)

活動内容(いつ、誰が、何を、どのように行っているか)を具体的に記載しています。

左記の活動内容より、代表的な活動指標を設定しています。

直営 委託 補助・助成 その他

運営方法

意図(対象をどのような状態にしたいのか)

成果指標(意図の達成状況を具体的に表す指標)

意図(対象をどのような状態にしたいのか)を記載しています。

左記の意図より、意図の達成状況を表す成果指標を設定しています。

3. 事業コストの推移、指標値の推移を把握する部分

2 指標値・事業コストの推移

区分	単位	11年度(実績)	12年度(実績)	13年度(実績)	14年度(実績)	15年度(実績)	16年度(計画)	目標値	目標値に対する14年度の達成度	
指標値	活動指標 A							目標値		
	活動指標	活動指標、成果指標の数値を記載(6年間分)しています。								
	活動指標									
	成果指標									
成果指標										
事業費	千円							特記事項(目標値設定の根拠)		
その他経費	千円									
人件費	千円	0	0	0	0	0	0			
総事業費 B	千円	0	0	0	0	0	0			
【人件費内訳】										
職員数(正規・非常勤)	人									
職員分	千円	0	0	0	0	0	0			
非常勤分	千円	0	0	0	0	0	0			
【財源内訳】										
国・都支出金	千円									
受益者負担分 C	千円									
その他特定財源	千円									
差引:一般財源	千円	0	0	0	0	0	0			
単当たりコスト (B÷A)	千円									
受益者負担率 (C÷B)	%									
効率性(単当たりコストの推移状況)に対するコメント					事業費、その他経費、人件費に対するコメント					
効率性に対するコメントを記載しています					事業費・その他経費・人件費に対するコメントを記載しています					

網掛け部分の数値は、自動計算。

事業費
11~15年度は決算額
16年度は予算額
(単位:千円)

その他経費
主管課で予算化されていない臨時職員の経費、公社等に委託・補助金支出している事業で公社等が独自にかけた経費です。

従事職員数を記入しています。

特定財源を記入しています。

(1)～(7)までの各質問項目に対して、空欄部分にコメントを記載しています

左側の各質問項目に対して、A、B、Cの3段階で評価

4. 事務事業を評価する部分

3 事務事業の評価

- 必要性
- 達成度
- 効率性
- 利便性
- 協働性

必要性	必 要 性	(1) 区による実施が国の法令(法律・政令・省令)に義務づけられていますか 法的必要性	A 義務づけられている B 義務づけられていない	(この項目のみ2段階評価)
		(2) 現在の区民ニーズを踏まえると、事業の目的が達成される等、役割が薄れていませんか 事業の必要性	A 薄れている B 少し薄れている C 薄れていない	
達成度	達成度	(3) 目標に対する達成状況は順調ですか 目標への達成状況	A 順調である B あまり順調でない C 順調でない	
効率性	効率性	(4) 単位当たりコストを下げることは可能ですか 効率化	A できる B 少しできる C できない	
		(5) 事務事業のなかで、事務改善できる部分はありますか 事務改善の余地	A まったくない B 少しある C かなりある	
利便性	利便性	(6) サービスの提供方法が区民の利便性に配慮したものになっていますか 利便性への配慮	A なっている B 多少なっていない C なっていない	
協働性	協働性	(7) NPOと協働していますか 協働の可能性	A 協働している B 協働可能 C 協働できない	

4 前年度の取り組み状況

5. 前年度の取り組み状況を記載する部分

15年度中にどのような取り組み、改善を行ったかについて記入しています。

5 今年度取り組みたいこと

6. 今年度の取り組み状況を記載する部分

前年度の反省をふまえ、より成果をあげるための取り組みについて記入しています。

総合評価(今後の事業の方向性)
 拡充 改善・効率化 縮小 休廃止 改善余地なし

総合評価

各項目ごとの評価をもとに、今後の事業の方向性をチェックしています。